

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名(報告用)	担当課	自己 評価	達成状況	ページ	
基本目標Ⅰ 豊かな自然と人が共生する環境をつくる	森林や水源の保全	適正な森林整備による水源涵養機能、二酸化炭素吸収機能の維持・向上	1 1 1 - 1	荒廃森林の整備	農林振興課	4	○	1	
			1 1 1 - 2	森林・山村多面的機能発揮対策交付金の交付	農林振興課	2			
		里山の保全	1 1 2 - 1	竹粉碎機の貸出による放置竹林伐採の促進	農林振興課	5			
		保安林の整備による自然災害の防災・減災	1 1 3 - 1	市有保安林の整備	農林振興課	5			
	生物多様性の保全	希少動植物・在来種の保護・保全	1 2 1 - 1	希少動植物・在来種に関する情報発信	環境整備課	5		◎	2
		外来生物の拡大防止	1 2 2 - 1	外来生物に関する情報発信	環境整備課	5			
		自然とふれあえる場の創出・確保	1 2 3 - 1	自然観察会の開催	環境整備課	4			
1 2 3 - 2	水生生物観察会等による自然と触れ合う機会提供		環境整備課	4					
基本目標Ⅱ うるおいのある快適な生活環境をつくる	水質改善	汚水処理人口普及率の向上	2 1 1 - 1	公共下水道の整備	下水道課	4	○	3	
			2 1 1 - 2	浄化槽設置整備事業補助金の交付	企業管理課	4			
			2 1 1 - 3	公共下水道の水洗化促進	企業管理課	4			
		水質の監視、水質改善の啓発活動の推進	2 1 2 - 1	下水道施設における放流水質の管理	下水道課	5			
			2 1 2 - 2	廃食用油回収事業の推進	環境整備課	4			
			2 1 2 - 3	遠賀川水系における水質の監視	環境整備課	4			
	環境美化活動の推進	まちなか美化活動の推進(花いっぱい運動、一斉清掃)	2 2 1 - 1	屋外広告物の除却による景観保全	都市計画課	3	○	4	
			2 2 1 - 2	花いっぱい活動の推進	都市計画課	4			
			2 2 1 - 3	ごみネット購入費補助金の交付	環境整備課	5			
			2 2 1 - 4	ボランティア袋の交付	環境整備課	5			
		生活マナーの向上(ポイ捨て、ペットの糞の放置防止)	2 2 2 - 1	生活環境の保全に関する条例に基づく指導	環境整備課	4			
			2 2 2 - 2	地域猫活動の促進による糞害被害の防止	環境整備課	5			
	不法投棄防止	2 2 3 - 1	環境パトロール等の実施	環境対策課	4				
	公害対策の徹底	騒音、振動、悪臭など公害の監視・指導の徹底	2 3 1 - 1	事業活動等の監視による公害の防止	環境整備課	5	◎	5	
基本目標Ⅲ 循環型社会・脱炭素社会を実現する	4R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進	ごみ発生の抑制(断る、減らす)	3 1 1 - 1	ペーパーレス化の推進	業務改善・DX推進課	5	○	6	
			3 1 1 - 2	生ごみ処理機に関する普及・啓発	環境整備課	5			
		再利用・再資源化の促進	3 1 2 - 1	資源回収団体奨励補助金の交付	環境整備課	4			
			3 1 2 - 2	ペットボトルキャップ回収事業の促進	環境整備課	4			
	3 1 2 - 3	フリーマーケット等の開催による再利用(リユース)の促進	環境整備課	4					
	省エネ活動、再生可能エネルギー導入の推進	国民運動「COOL CHOICE」の推進	3 2 1 - 1	市民向け啓発事業の開催による省エネ行動の促進	環境整備課	5	◎	7	
			3 2 1 - 2	市職員の省エネ行動促進	環境整備課	5			
		家庭や事業所、学校などへの省エネ・再エネ設備導入促進	3 2 2 - 1	公共施設における再生可能エネルギー利用の促進	環境整備課	3			
			3 2 2 - 2	再生可能エネルギー導入目標の策定	環境整備課	5			
		地産地消の推進(フードマイレージの低減)	3 2 3 - 1	地産地消の推進	農林振興課	5			
地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に基づく対策の推進		3 2 4 - 1	第3次飯塚市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の推進	環境整備課	4				
基本目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの実現に向けた横断的取組 教育・協働・連携の推進(重点施策)	情報の多様な発信手段	多様な媒体による情報発信	4 1 1 - 1	市公式ホームページの充実	情報管理課	4	◎	8	
			4 1 1 - 2	「広報いづか」による情報発信	情報管理課	5			
		ICTを活用した多様なコミュニケーション手段の導入	4 1 2 - 1	AI自動応答サービスの導入推進	業務改善・DX推進課	4			
			4 1 2 - 2	小中学校における情報機器の導入推進	学校教育課	5			
	多様な主体、世代が気軽に情報交換できる場の創出支援	自治会・交流センターの活用による地域コミュニティの活性化	4 2 1 - 1	中央公民館の利用促進	生涯学習課	4	○	9	
			4 2 1 - 2	交流センター等を活用した市民サークル活動の促進	生涯学習課	4			
			4 2 1 - 3	まちづくり協議会に対する補助金の交付・人的支援	まちづくり推進課	4			
			4 2 1 - 4	自治会への加入促進	まちづくり推進課	4			
		多様な主体、世代が気軽に情報交換できる場の創出支援	4 2 2 - 1	環境に関する市民ワークショップの開催	環境整備課	4			
			4 2 2 - 2	市民交流プラザの運営による情報交換の機会創出	市民活動支援課	5			
	環境保全団体などのネットワーク形成支援	4 2 3 - 1	ワークショップ開催によるネットワーク形成支援	環境整備課	3	◎	10		
		4 2 3 - 2	エコスタいいづか開催による情報交換の機会提供	環境整備課	4				
	環境教育・学習の充実	エコ工房、コミュニティセンター、交流センターを活用した講座、セミナーイベントの拡充支援	4 3 1 - 1	コスモス大学における講座開催	生涯学習課	4	○	11	
			4 3 1 - 2	エコ工房の利用促進	環境整備課	4			
		4 3 2 - 1	自然体験プログラム「いいねん!」の開催	環境整備課	4				
		4 3 3 - 1	環境学習教材の配付	環境整備課	5				
		4 3 3 - 2	小中学校における環境保全活動の推進	環境整備課	4				

自己評価  
 5 → 達成(100%)  
 4 → 50%以上達成  
 3 → 50%未満達成  
 2 → 検討したが未着手  
 1 → 未着手

達成状況  
 (=自己評価平均)  
 4.5~5.0 → ◎  
 3.5~4.5 → ○  
 2.5~3.5 → △  
 2.5未満 → ×

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和6年度成果	令和7年度課題	自己評価	
							指標名称【単位】	目標値及び実績値					
基本目標Ⅰ 豊かな自然と人が共生する環境をつくる	森林や水源の保全	適正な森林整備による水源涵養機能、二酸化炭素吸収機能の維持・向上	1 1 1 - 1	荒廃森林の整備	農林振興課	<p>公益的機能を長期的に発揮できる森林を目指すために、平成30年度から令和9年度までの10か年で公益的機能が発揮できなくなる恐れのある人工林で間伐等を実施するもの。 ※福岡県森林環境税基金からの交付金（交付率10/10）を活用。</p> <p>※H30～R4年度における5か年整備目標：834ha ※R5～R9年度における5か年整備目標：593.24ha</p>	荒廃森林整備面積（累計）	令和5年度目標値 593.24	令和6年度目標値 593.24	令和7年度目標値 593.24	<p>特定調査の結果、想定よりも多くの箇所について施業への同意を取得できた。</p> <p>翌年度以降に施業を実施することとした箇所があるため、リストを整理してきちんと施業を実施する必要がある。</p>	4	50%以上達成
								令和5年度実績値 122.88	令和6年度実績値 196.47				
							荒廃森林整備面積（単年度）	令和5年度目標値 121	令和6年度目標値 151.97	令和7年度目標値 94.57			
								令和5年度実績値 122.88	令和6年度実績値 73.59				
							計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	縮小	縮小	縮小			
	次年度以降の改善策									2年度の間伐に向けて、特定調査が必要な箇所全ての特定調査を行い、今後の見通しを立てる。			
	森林や水源の保全	適正な森林整備による水源涵養機能、二酸化炭素吸収機能の維持・向上	1 1 1 - 2	森林・山村多面的機能発揮対策交付金の交付	農林振興課	<p>森林の有する多面的機能を発揮するため、地域住民等による里山林保全・竹林整備及び森林資源利用・森林機能強化等の共同活動への支援のため交付金を交付する。</p>	活動組織数【組織】	令和5年度目標値 1	令和6年度目標値 1	令和7年度目標値 1	<p>新規団体設立に関する相談がなかった。</p> <p>構成員の高齢化により活動を休止する森林ボランティア団体が増加しているため、新規で団体を設立するまでに至らないことが多い。</p>	2	検討したが未着手
								令和5年度実績値 0	令和6年度実績値 0				
							整備・保全等された森林の面積【ha】	令和5年度目標値 12.9	令和6年度目標値 10	令和7年度目標値 10			
								令和5年度実績値 0	令和6年度実績値 0				
							計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
事業の方向性（維持・拡充・縮小）							拡充	拡充	拡充				
次年度以降の改善策									窓口である福岡県森林組合連合会と今後の活動組織について協議を行い、広報活動を行う。また、新規団体設立の支援を行う。				
里山の保全	里山の保全	1 1 2 - 1	竹粉砕機の貸出による放置竹林伐採の促進	農林振興課	<p>里山の荒廃や放置竹林面積の増加等といった地域課題を解消するため、竹粉砕機を導入し、市民団体や市民へ貸し出し、その活動支援を行うことで里山林保全や竹林整備につなげるもの。</p>	竹林伐採面積【ha】	令和5年度目標値 2.4	令和6年度目標値 0.5	令和7年度目標値 2.4	<p>説明会等で竹粉砕機の貸出について周知を行い、貸出件数・伐採面積を増加することができた。</p> <p>貸出を行う回数が増えることで、返却時の破損が非常に多くなってくる。</p>	5	達成（100%）	
							令和5年度実績値 0.0165	令和6年度実績値 2.2318					
						竹粉砕機貸出日数【日】	令和5年度目標値 336	令和6年度目標値 192	令和7年度目標値 192				
							令和5年度実績値 17	令和6年度実績値 189					
						計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
						事業の方向性（維持・拡充・縮小）	拡充	拡充	拡充				
次年度以降の改善策									竹粉砕機について操作説明会時に積極的に借りていただくよう声掛け等行う。				
保安林の整備による自然災害の防災・減災	保安林の整備による自然災害の防災・減災	1 1 3 - 1	市有保安林の整備	農林振興課	<p>市有保安林が水源涵養、災害防止等の指定されている目的を果たしていけるように適切な維持管理を行う。</p>	生活環境保全林管理【ha】	令和5年度目標値 4	令和6年度目標値 2	令和7年度目標値 2	<p>荒廃していた遊歩道の階段を修繕することができた。</p> <p>今後、生活環境保全林としての機能を適切に発揮できるように県との協議に基づいて整備を進める必要がある。</p>	5	達成（100%）	
							令和5年度実績値 2	令和6年度実績値 2					
						計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
						事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持				
次年度以降の改善策									県との協議に基づき整備を行う。				

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和6年度成果	令和7年度課題	自己評価	
							指標名称【単位】	目標値及び実績値					
基本目標1 豊かな自然と人が共生する環境をつくる	生物多様性の保全	希少動植物・在来種の保護・保全	1 2 1 - 1	希少動植物・在来種に関する情報発信	環境整備課	市報等の媒体により、保護・保全すべき希少動植物、在来種の情報発信を行う。 また、自然体験プログラムを開催し、参加者の動植物を保全する意識の醸成を図る。	市報（環境コラム）における外来生物に関する情報発信【回】	令和5年度目標値 1	令和6年度目標値 1	令和7年度目標値 1	市報にて、特定外来生物の「オオキンケイギク」について情報掲載を行った。 オオキンケイギクの特徴や駆除方法を周知し、自然景観や生態系への悪影響について掲載することで、生態系の保全についての情報掲載を行った。 また、自然体験プログラムを21回開催しており、延べ223名の参加者に対して、生態系保全に関する啓発を行った。	市報掲載料は2か月に1回、1/2頁分の予算計上であり、発信する情報の選別が要される。 自然体験プログラム参加者数の増加に加え、新規参加者の更なる獲得が課題となる。 出前いいねん！を新たに開催するため、通常のいいねん！の参加者に繋がる様な取り組みが課題となる。	5 達成（100%）
							令和5年度実績値 0	令和6年度実績値 1	令和7年度実績値 1				
							自然体験プログラム参加者数【人】	令和5年度目標値 290	令和6年度目標値 220	令和7年度目標値 140			
							令和5年度実績値 185	令和6年度実績値 223	令和7年度実績値 140				
							計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持			
		次年度以降の改善策	市報、市ホームページ、公式SNS等の様々な媒体による各種事業の周知										
		外来生物の拡大防止	1 2 2 - 1	外来生物に関する情報発信	環境整備課	市報、市ホームページ等の媒体の活用により、外来生物に関する情報発信を行い、外来生物を発見した際の適切な対応の周知に努め、拡大の防止を図る。 また、自然体験プログラムを開催し、参加者の生態系に関する知識や保全意識の醸成を図る。	市報（環境コラム）における外来生物に関する情報発信【回】	令和5年度目標値 1	令和6年度目標値 1	令和7年度目標値 1	市報にて、特定外来生物の「オオキンケイギク」について情報掲載を行った。 オオキンケイギクの特徴や駆除方法を周知し、自然景観や生態系への悪影響について掲載することで、生態系の保全に対する啓発を行った。 また、自然体験プログラムを21回開催しており、延べ223名の参加者に対して、生態系保全に関する啓発を行った。	市報掲載料は2か月に1回、1/2頁分の予算計上であり、発信する情報の選別が要される。 自然体験プログラム参加者数の増加に加え、新規参加者の更なる獲得が課題となる。 出前いいねん！を新たに開催するため、通常のいいねん！の参加者に繋がる様な取り組みが課題となる。	5 達成（100%）
							令和5年度実績値 0	令和6年度実績値 1	令和7年度実績値 1				
							自然体験プログラム参加者数【人】	令和5年度目標値 290	令和6年度目標値 220	令和7年度目標値 140			
							令和5年度実績値 185	令和6年度実績値 223	令和7年度実績値 140				
							計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持						維持	維持					
次年度以降の改善策	市報、市ホームページ、公式SNS等の様々な媒体による各種事業の周知												
自然とふれあえる場の創出・確保	1 2 3 - 1	自然観察会の開催	環境整備課	主に小学生とその親世代を対象とした自然体験プログラム「いいねん！」を開催し、広く市民に自然と触れ合う機会の提供を行う。	自然体験プログラム開催数【回】	令和5年度目標値 22	令和6年度目標値 22	令和7年度目標値 14	自然体験プログラムを21回開催しており、延べ223名の参加者に対して、生態系保全に関する啓発を行った。 自然と触れ合う貴重な機会として子どもたちが楽しんで参加している。	出前いいねん！を新たに開催するため、通常のいいねん！の参加者に繋がる様な取り組みが課題となる。 自然体験プログラム参加者数の増加に加え、新規参加者の更なる獲得が課題となる。	4 50%以上達成		
					令和5年度実績値 19	令和6年度実績値 21	令和7年度実績値 14						
					自然体験プログラム参加者数【人】	令和5年度目標値 290	令和6年度目標値 220	令和7年度目標値 140					
					令和5年度実績値 185	令和6年度実績値 223	令和7年度実績値 140						
					計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度					
					事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	縮小					
次年度以降の改善策	市報、市ホームページ、公式SNS等の様々な媒体による各種事業の周知												
自然とふれあえる場の創出・確保	1 2 3 - 2	水生生物観察会等による自然と触れ合う機会提供	環境整備課	エコ工房において、水生生物観察会やバードウォッチング等を開催し、参加者に自然と触れ合う機会の提供を行う。	関連講座の開催回数【回】	令和5年度目標値 3	令和6年度目標値 3	令和7年度目標値 3	エコ工房が実施する環境教室の一環として、水生生物観察会を2回実施した。 水生生物観察会については、9月雨天中止で、実施できていない。	特に水生生物観察会の実施にあたっては、開催にあたって河川の水量も考慮する必要があり、開催前日も含めた天候の影響を受けやすい。	4 50%以上達成		
					令和5年度実績値 2	令和6年度実績値 2	令和7年度実績値 3						
					関連講座の参加人数【人】	令和5年度目標値 60	令和6年度目標値 60	令和7年度目標値 60					
					令和5年度実績値 20	令和6年度実績値 14	令和7年度実績値 60						
					計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度					
					事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持					
次年度以降の改善策	開催可否を天候に左右されない屋内での生物観察教室等の開催検討等												

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和6年度成果	令和7年度課題	自己評価		
							指標名称【単位】	目標値及び実績値						
基本目標Ⅱ うるおいのある快適な生活環境をつくる	河川などの水質改善	汚水処理人口普及率の向上	211-1	公共下水道の整備	下水道課	市民の快適で衛生的な生活環境の整備と、公共用水域の水質を保全するため、公共下水道と合併浄化槽の普及促進により汚水処理を行っている。このうち公共下水道での整備を行う事業計画区域について、未整備区域の状況調査を行い、調査結果により一定の条件に合致する区域を除く計画を、令和4年度に策定した。当該区域については公共下水道整備を一旦、休止し合併浄化槽での汚水処理を普及するものとする。今後は公共下水道と合併浄化槽での一体的な汚水処理の効率化を図る。	整備面積【ha】	令和5年度目標値 1,608	令和6年度目標値 1,608	令和7年度目標値 1,608	事業計画面積1608haのうち1588.2haの整備が完了し、約5.3万人の市民が公共下水道を利用している状況であり、事業の目的である市民の快適で衛生的な生活環境の整備と公共用水域の水質保全に寄与しているものとする。	公共下水道事業計画区域の変更により公共下水道を整備する区域の実施設計を行い、令和9年度の整備完了を目指す。	4 50%以上達成	
								令和5年度実績値 1584.5	令和6年度実績値 1588.2					
							計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				次年度以降の改善策
			事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持	・要望の多い箇所を抽出し、計画的・効率的な箇所から整備を実施する。 ・今後の管渠等の整備については、水洗化意向調査等を把握し、費用対効果の高いところから整備を進める。							
			211-2	浄化槽設置整備事業補助金の交付	企業管理課	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、良好な生活環境を保全するため、住宅用小型合併処理浄化槽の設置に対し、補助金を交付するもの。	浄化槽設置基数【基】	令和5年度目標値 218	令和6年度目標値 218	令和7年度目標値 218	昨年度より、浄化槽設置基数については減少したが、普及率については向上している。	水質改善を図る上では合併浄化槽への転換が重要であることから、未だくみ取便槽、単独処理浄化槽を使用している世帯に対し、合併処理浄化槽への転換を誘引するための方策を講ずる必要がある。		4 50%以上達成
								令和5年度実績値 215	令和6年度実績値 209					
		計画年度					令和7年度	令和8年度	令和9年度	次年度以降の改善策				
		事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持	水質改善に関する普及啓発のほか、補助制度を周知することで普及率の向上に努める。								
		211-3	公共下水道の水洗化促進	企業管理課	個人が自宅の排水設備（水洗化）工事を行うにあたり、経済的負担を軽減させる制度を運用し、公共下水道の水洗化率の向上を図り河川の水質を向上させる。	公共下水道の水洗化率※水洗化人口/処理区域内人口【%】	令和5年度目標値 100	令和6年度目標値 100	令和7年度目標値 100	水洗便所等改造費補助金 25件、水洗化率向上 0.77ポイント	制度の周知方法の検討や、経済的理由により水洗化(接続)工事が困難な家庭に対する積極的な相談業務等を行う必要がある。	4 50%以上達成		
							令和5年度実績値 91.00	令和6年度実績値 91.77						
						計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				次年度以降の改善策	
		事業の方向性（維持・拡充・縮小）	拡充	拡充	維持	市ホームページ等による関連制度の周知を行うとともに、下水道整備計画等も勘案し、水洗便所等改造費補助金の件数や補助金額の増額等について検討する。								
水質の監視、水質改善の啓発活動の推進		212-1	下水道施設における放流水質の管理	下水道課	下水道施設（ポンプ場・処理場）に対し、適切な維持管理を実施することにより、施設の能力を最大限に発揮し、安定的で良好な放流水質を確保する。	放流水の目標値に対する達成度※目標値（10ppm）/放流水の年間平均BOD値×100【%】	令和5年度目標値 100	令和6年度目標値 100	令和7年度目標値 100	公共用水域の水質保全等を図るため、適切な維持管理を実施し、BOD平均値（2.33ppm）が目標値（10ppm）を下回ることができた。この水準を維持していくことで、突発的な事故が起きても排水基準（20ppm）以内に抑えることができる。	生物処理の性質上、流入水の水温低下や降水時の極端な水温度変動、流入量の負荷変動に対し、水質が大きく影響されるため、運転方法を細かく制御し、放流水水質の安定化を図る必要がある。		5 達成（100%）	
							令和5年度実績値 505.05	令和6年度実績値 429.18						
						計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			次年度以降の改善策		
		事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持	水温度低下や降水等の負荷変動に対して、引抜汚泥量、返送汚泥量、滞留時間等の運転調整を細かく行い、放流水水質の変動を最小限に抑える。								
		212-2	廃食用油回収事業の推進	環境整備課	家庭排水による河川の水質汚濁防止活動の一環として、市役所・各支所・交流センター等に廃食用油回収ボックスを設置し、各家庭から出る廃食用油の回収事業を実施する。回収した廃食用油は、塗料等にリサイクルされる。	廃食用油回収量【kg】	令和5年度目標値 5,000	令和6年度目標値 5,000	令和7年度目標値 5,000	18箇所に設置した廃油回収ボックスにて、3,600kgの廃食用油の回収を行った。市報、市ホームページにおける情報掲載により廃食用油回収事業の紹介を行った。	回収量は前年度とほぼ同じとなっている。今後増加となるよう回収箇所の検討・広報活動の拡張を行う。	4 50%以上達成		
							令和5年度実績値 3,610	令和6年度実績値 3,600						
計画年度	令和7年度					令和8年度	令和9年度	次年度以降の改善策						
事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持	事業周知の強化										
212-3	遠賀川水系における水質の監視	環境整備課	遠賀川水系の水質検査を39地点（令和3年度）にて実施し、水質の監視に努める。	水質検査実施箇所数【箇所】	令和5年度目標値 39	令和6年度目標値 39	令和7年度目標値 31	遠賀川水系の水質検査（39地点）を年2回（9月、2月）実施した。	9月検査で1か所、2月検査で4か所、基準を超過した地点が確認された。土壌が雨水により河川に流入したことが原因と考えられるため、継続して数値の注視を行う。	4 50%以上達成				
					令和5年度実績値 39	令和6年度実績値 39								
				水質検査における環境基準達成率【%】※BOD達成箇所/水質検査実施箇所	令和5年度目標値 85	令和6年度目標値 85	令和7年度目標値 85							
					令和5年度実績値 95	令和6年度実績値 90								
				計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				次年度以降の改善策			
事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持	令和7年度から水質検査箇所数を39地点から31箇所に削減行うため、状況に応じて検査箇所数の見直しを行う。										

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和6年度成果	令和7年度課題	自己評価	
							指標名称【単位】	目標値及び実績値					
基本目標Ⅱ うるおいのある快適な生活環境をつくる	環境美化活動の推進	まちなか美化活動の推進(花いっぱい運動、一斉清掃)	2 2 1 - 1	屋外広告物の除却による景観保全	都市計画課	屋外広告物を正しく表示するルールを定めることにより、良好な景観の形成を図ることを目的とし、屋外広告物の掲出許可及び違法広告物の除却等を実施する事業である。なお、本事業は福岡県屋外広告物条例に基づいており、平成12年度より県から市町村への権限移譲となっている。	適切に管理されていない違法屋外広告物の除却枚数【枚】	令和5年度目標値 400	令和6年度目標値 240	令和7年度目標値 152	市報に屋外広告物の適正な掲出について掲載し、啓発活動を実施した。また、屋外広告物更新申請の案内文について、より分かりやすい内容になるよう見直しを行った。違法屋外広告物広告物の除却件数については減少傾向にあり、屋外広告物の適切な掲出についての認識が根付きつつある。	減少傾向ではあるが依然として違法屋外広告物の掲出が続いているため、啓発活動等の継続を図る。	3 50%未満達成
			令和5年度実績値 186	令和6年度実績値 116									
			計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	次年度以降の改善策						
			事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持	違法屋外広告物の除却作業の内容の見直しにより、除却件数の維持・向上をはかる。						
			2 2 1 - 2	花いっぱい活動の推進	都市計画課	花を通じた各種事業の展開により明るい郷土とすることを主目的とし、併せて景観の向上や地域コミュニティの形成を図る。	協議会会員数【人】	令和5年度目標値 162	令和6年度目標値 170	令和7年度目標値 165	SNSや電子申請を活用して中之島コスモス花壇の種蒔ボランティアの募集を行い、昨年度よりも参加者数を大きく増やすことができた。協議会役員とコスモス花壇の整備方法について協議を重ね、耕運を2回行うことで雑草の根を断ち、数年ぶりにコスモスを満開に咲かせることができた。花壇コンクールについても参加団体数が増加し、地域コミュニティの形成に貢献した。	協議会会員、役員共に高齢化が進んでおり、活動規模が縮小傾向にある。積極的に活動する団体が固定化しており、新規加入団体の促進が課題となる。また、花苗や種子を予算の範囲内での配布を続けているが、配布したものが実際にどこまで花壇づくりに使われているかを確認できていないため、まずは各団体の花壇の位置を把握し、花苗等の使用状況を調査する必要がある。	4 50%以上達成
			令和5年度実績値 164	令和6年度実績値 163									
			計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	次年度以降の改善策						
			事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持	SNSを活用したPR活動に力を入れ、花いっぱい推進運動を広めていくことで、協議会加入の促進、花壇づくりの拡大、地域コミュニティ活動の活性化を図る。会員花壇の場所をすべて把握できていないため、確認してGIS等で場所を記録する。各花壇の花の状況もPRを進めて、会員のモチベーションアップにもつなげる。中之島コスモス花壇の整備範囲を拡大を検討し、市民の憩いの場としての環境を向上させる。						
			2 2 1 - 3	ごみネット購入費補助金の交付	環境整備課	市民がごみネットを購入する際に、その費用の一部に対して補助金を交付することにより、地域のごみ集積所のごみの散乱を防止、住環境の美化に努め、地域の環境保全に寄与する。	補助金を利用し、ごみネットを購入した枚数【枚】	令和5年度目標値 30	令和6年度目標値 30	令和7年度目標値 30	市報や市ホームページ、公式LINE等にて広報を行い、目標値を超えた38件の交付申請を得た。	より多くの媒体にて広報を実施し、知らない人がいないように本事業の更なる周知が必要である。	5 達成(100%)
			令和5年度実績値 24	令和6年度実績値 38									
			計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	次年度以降の改善策						
			事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充	事業周知の強化						
2 2 1 - 4	ボランティア袋の交付	環境整備課	飯塚市内の公共の道路その他公共の場所の清掃を行うためのボランティア袋を交付し、市民によるボランティア清掃活動を促進する。	ボランティア袋配付枚数【枚】	令和5年度目標値 6,000	令和6年度目標値 7,500	令和7年度目標値 16,000	地域環境の保全と美化のため、合計15,499枚のボランティア清掃ごみ袋を申請者へ配付し、16,036人がボランティア清掃を行った結果、清潔で快適な地域環境の維持に寄与した。	ボランティア清掃活動の実施が活発でない地域への環境美化活動の紹介や、ボランティア清掃への新規参加者の獲得のため、この事業の更なる周知を行う必要がある。	5 達成(100%)			
令和5年度実績値 8,285	令和6年度実績値 15,499												
計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	次年度以降の改善策									
事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持	当事業や市職員一斉清掃に関する情報周知の実施									
2 2 2 - 1	生活環境の保全に関する条例に基づく指導	環境整備課	環境問題に関するさまざまな苦情に対し、現地調査等を行い、関係者に対し改善指導等を行うもの。	苦情処理件数【件】	令和5年度目標値 305	令和6年度目標値 328	令和7年度目標値 283	近年は苦情内容が複雑化してはいるが、個々の苦情の解決を図ることで、環境保全意識の向上に一定の成果を上げている。	条例施行後、住民等からの苦情の申出については、関係課及び関係機関と連携を踏み対応しているが、原因者が特定できない事例等の対応について検討する必要がある。また、これまでと同様に苦情に対し速やかに現場を確認し、適切な指導を行うとともに、環境に関する啓発を行い、さらに市民の環境保全意識の向上を図る必要がある。	4 50%以上達成			
令和5年度実績値 353	令和6年度実績値 224												
計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	次年度以降の改善策									
事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持	苦情受付後の現地確認、登記、戸籍依頼などを集中的に行い、原因者への依頼を迅速に行う。適切な指導を行うことにより、環境保全意識の向上に努める。									
2 2 2 - 2	地域猫活動の促進による糞害被害の防止	環境整備課	地域猫活動に取り組む住民等で組織される団体を支援することにより、飼い主のいない猫の適正管理を推進し、もって猫に起因する生活環境被害の軽減及び猫の引取数の減少を図る。	手術券を活用し手術した頭数【頭】	令和5年度目標値 22	令和6年度目標値 25	令和7年度目標値 20	2団体で26頭の不妊去勢手術を完了し、活動地域の猫に起因する生活環境被害の軽減に寄与した。	活動地域が限られているため、市内全域で本事業の目的を達成するに至っていない。地域猫活動の認知度が依然として低いことや、活動を希望する地区の住民の理解を得られない等の課題があるため、多様な手段で活動内容や効果について周知を行い、活動地域を増やす必要がある。	5 達成(100%)			
令和5年度実績値 26	令和6年度実績値 26												
計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	次年度以降の改善策									
事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持	新規活動団体の活動を推進するために、ホームページや市報等の多様な媒体で地域猫活動の周知を図り、地域猫活動の認知度を向上させる。									

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和6年度成果	令和7年度課題	自己評価		
							指標名称【単位】	目標値及び実績値						
基本目標Ⅱ うるおいのある快適な生活環境をつくる	環境美化活動の推進	不法投棄の防止	2 2 3 - 1	環境パトロール等の実施	環境対策課	市民の清潔な生活環境保持のため、 ・環境パトロールの実施や不法投棄物の回収および監視カメラ、看板等の設置作業 ・依頼を受けた各課所管の市有地の草刈りや回収、側溝・樹木等の消毒作業 を行う。  (※指標の目標値については、状況によって実績が変動するため、あくまで活動の目安として設定している。)	パトロール日数(飯塚地区)【日】	令和5年度目標値 240	令和6年度目標値 240	令和7年度目標値 240	市民や土地所有者(所管課)から依頼があったものだけでなく、不法投棄が目立つ箇所には積極的に不法投棄防止看板の設置に取り組んだ。	ごみ集積器具やごみネットの劣化が原因によるごみ散乱の苦情が目立った。	4 50%以上達成	
								令和5年度実績値 204	令和6年度実績値 242					
							パトロール日数(頼田、庄内、穂波、筑穂地区)【回】	令和5年度目標値 340	令和6年度目標値 340	令和7年度目標値 340				
								令和5年度実績値 287	令和6年度実績値 343					
							監視カメラ、看板の設置数【件】	令和5年度目標値 30	令和6年度目標値 30	令和7年度目標値 50				
								令和5年度実績値 12	令和6年度実績値 50					
							計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				次年度以降の改善策
	事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持	散乱ごみ等の苦情は回収のみの対応ではなく、改善策(ごみ箱の買い替え等)の案内も同時に行う。適正な廃棄物処理に従わない悪質な事例に関しては、警察との連携強化を図る。また、ごみ箱の買い替えを検討している方については補助金の制度を紹介し、積極的な設置を勧める。									
	公害対策の徹底	騒音、振動、悪臭など公害の監視・指導の徹底	2 3 1 - 1	事業活動等の監視による公害の防止	環境整備課	本事業は、騒音・振動・悪臭・大気汚染・水質汚濁などの公害対策を実施することにより、市民の安全で健康的な生活環境を保全することを目的としている。	特定施設の設置及び特定建設作業の実施の届出の審査件数【件】	令和5年度目標値 47	令和6年度目標値 54	令和7年度目標値 56	遠賀川水系の水質検査(39地点)を年2回(9月、2月)実施した。他、特定施設の設置及び特定建設作業の実施届出の審査を57件実施した。以上により、公害発生源の監視を行っている。	市内で事業活動を行っている各企業と協議を行い、協定締結を進めていく必要がある。	5 達成(100%)	
								令和5年度実績値 56	令和6年度実績値 57					
							水質検査実施箇所数【箇所】	令和5年度目標値 39	令和6年度目標値 39	令和7年度目標値 31				
								令和5年度実績値 39	令和6年度実績値 39					
							計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				次年度以降の改善策
							事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持				・市内で事業活動を行っている各企業と協議を行い、協定締結を進めていく。 ・市内工業団地周辺の騒音・振動・悪臭・大気汚染・水質汚濁に関する現状の把握に努める。

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和6年度成果	令和7年度課題	自己評価					
							指標名称【単位】	目標値及び実績値									
基本目標Ⅲ 循環型社会・脱炭素社会を実現する	4R(リデュース、リデュース、リユース、リサイクル)の推進	ごみ発生抑制(断る、減らす)	311-1	ペーパーレス化の推進	業務改善・DX推進課	庁内で実施される研修や会議において、ペーパーレス化を推進することで、職員の業務負担の軽減、印刷にかかるコストの削減等の効果が見込まれるため、ペーパーレス化の周知及び啓発に加え、環境の整備を行うもの。	ペーパーレス会議・研修の実施回数【回】	令和5年度目標値 100	令和6年度目標値 300	令和7年度目標値 500	各種会議や研修において、ペーパーレス化を全庁的に推進するため、新たにポンチ絵を作成し視覚的に理解できる工夫を行い、掲示板を活用して継続的に庁内周知を行った。また、継続してモバイルプロジェクトの庁内貸出を実施している。 昨年度より回数が増えた要因は、昨年度の実施回数集計時は定義が明確に示せておらず、課内ミーティングや打ち合わせなど各課の回答にばらつきがあったため、今年度①審議会等②その他の委員会等③各部署をまたぐ会議④研修(内部向け、外部向け)の定義を定めたため。	ペーパーレス会議は年々進んでいるが、まだ紙対応の会議があり、更に推進させていく必要がある。また、電子決裁率が各部署ごとに差が出ている現状があり、各部署の電子決裁率を向上させ、更なるペーパーレス化の推進を図る。	5 達成(100%)				
							令和5年度実績値 711	令和6年度実績値 501									
							計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				次年度以降の改善策			
		事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充	ペーパーレスに対する方針の策定を行い、対象となる会議・研修の状況確認だけでなく、次年度以降、新たに各部署の電子決裁比率を合わせて通知することで、電子決裁に対する意識付けの強化を図り、更なる全庁的なペーパーレス推進を目指す。											
		311-2	ごみ処理機に関する普及・啓発	環境整備課	エコ工場の協力のもと、ごみ処理機の作成教室を開催し、各世帯におけるごみ処理機の普及を図り、ごみ発生量の削減に努める。	生ごみ処理機作成教室開催数【回】	令和5年度目標値 7	令和6年度目標値 7	令和7年度目標値 7	生ごみ処理機配布会を5回開催し、26名に配布した。 今年度からエコスタにて配布を行い、予定していた在庫数である38個全て配布した。 また、いづつか環境ワークショップにて作成教室を開催し20人の参加者を得られた。	R6までは、ワークショップでの作成教室があったが、R7は廃止されたため、別の方法での対応を考える必要がある。エコ工場通信や市報等による更なる情報掲載を検討する必要がある。	5 達成(100%)					
						令和5年度実績値 6	令和6年度実績値 5										
						計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				次年度以降の改善策				
						事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	拡充	拡充				事業周知方法の強化・検討				
						資源回収団体の新規登録数【団体】	令和5年度目標値 6	令和6年度目標値 6	令和7年度目標値 6				2年以上活動を行っていない16団体へ活動再開依頼を実施し、6団体が活動を再開。また、市報、ホームページ、SNS等による広報を行った結果、一定量のペットボトルキャップを回収できた。 ハローデイ2店舗が回収の提携先を変更したため、減少した。	更なるごみの減量化(資源化)率向上を図るには、活動団体数の増加及び1団体当たりの回収量の増を要するため、広報活動を強化するとともに、活動していない団体に対し、活動再開を促していく。	4 50%以上達成		
						令和5年度実績値 6	令和6年度実績値 3										
		計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	次年度以降の改善策											
		事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	拡充	ゴミの減量化(資源化)率の更なる向上を図るため、広報活動を行う他、2年以上活動していない団体に対し、活動再開の依頼を呼びかける。											
312-2	ペットボトルキャップ回収事業の促進	環境整備課	限りある資源を循環させるごみゼロの社会づくりを目標に循環型社会を推進する取組として、市民、小中学校、企業等の協力によりペットボトルキャップを回収し、ごみの減量化を図り、再生プラスチック製品(プリンター、定規等)に再利用する。	ペットボトルキャップ回収箇所【箇所】	令和5年度目標値 34	令和6年度目標値 34	令和7年度目標値 34	市報や市ホームページにて情報掲載を行い、事業の周知・啓発を行った結果、一定量のペットボトルキャップを回収できた。 ハローデイ2店舗が回収の提携先を変更したため、減少した。	各種媒体を用いたペットボトルキャップ回収事業の周知の継続が必要である。	4 50%以上達成							
				令和5年度実績値 34	令和6年度実績値 32												
				計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				次年度以降の改善策						
				事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	維持				事業周知の強化						
				312-3	フリーマーケット等の開催による再利用(リユース)の促進	環境整備課	エコ工場まつりにおいて、フリーマーケットを開催するほか、定期的にごみ処理機等の再利用を促進する事業を実施する。				エコ工場まつりへの来客数【人】	令和5年度目標値 700	令和6年度目標値 700	令和7年度目標値 700	子ども服交換会の参加人数前年度と比べて56名多くなった。 40件のフリーマーケット出店、595名の来場者を得た。	イベントの宣伝の更なる強化やエコ工場館内にて実施しているフリーマーケットの周知が課題となる。	4 50%以上達成
											令和5年度実績値 555	令和6年度実績値 595					
計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度					次年度以降の改善策									
事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	維持					当イベントの宣伝の更なる強化やエコ工場館内にて実施しているフリーマーケットの周知									
子ども服交換会実施回数【回】	令和5年度目標値 20	令和6年度目標値 18	令和7年度目標値 19														
令和5年度実績値 18	令和6年度実績値 18																
子ども服交換会参加人数【人】	令和5年度目標値 200	令和6年度目標値 200	令和7年度目標値 200														
令和5年度実績値 91	令和6年度実績値 147																
計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	次年度以降の改善策													
事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	維持	当イベントの宣伝の更なる強化やエコ工場館内にて実施しているフリーマーケットの周知													

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和6年度成果	令和7年度課題	自己評価				
							指標名称【単位】	目標値及び実績値								
基本目標Ⅲ 循環型社会・脱炭素社会を実現する	省エネ活動、再生可能エネルギー導入の促進	国民運動「COOL CHOICE」の推進	3 2 1 - 1	市民向け啓発事業の開催による省エネ行動の促進	環境整備課	「緑のカーテンエコプロジェクト」でのグリーンカーテンの普及、「打ち水大作戦」や「クールシェアいづか」等の地球温暖化防止に関する各種啓発事業を実施することにより、市民の温暖化防止活動への意識向上を図る。	啓発事業開催数【回】	令和5年度目標値 4	令和6年度目標値 4	令和7年度目標値 4	グリーンカーテン普及を目的とした「緑のカーテンエコプロジェクト」、夏季の冷房使用数の低下や省エネ学習を目的とした「クールシェアいづか」、打ち水普及や省エネ学習を目的とした「打ち水大作戦」、太陽光電池を用いたランプ工作教室による再生普及を目的とした「エコLightナイト」を開催した。	主催イベント数が多い課であるため、参加者数を維持しつつ、各イベントに対する人件費を可能な限り抑えられるような方策を考案・実施する必要がある。	5 達成 (100%)			
							啓発事業参加者数【人】	令和5年度実績値 4	令和6年度実績値 4	令和7年度実績値 4						
							計画年度	令和5年度 300	令和6年度 450	令和7年度 450						
			事業の方向性 (維持・拡充・縮小)	令和7年度 414	令和8年度 561	令和9年度	次年度以降の改善策	各イベントにおいて参加者数を維持しつつ、人件費を可能な限り抑えられるような方策を考案・実施								
			3 2 1 - 2	市職員の省エネ行動促進	環境整備課	第3次飯塚市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の推進の一環として、市職員の省エネに関する取組状況調査を実施し、市職員の省エネ行動を促す。	職員の取組状況調査実施回数【回】	令和5年度目標値 1	令和6年度目標値 1	令和7年度目標値 1	年度当初に優先的取組項目として省エネに関する取組の15項目を設定し、全職員に取組の実施を促した。また、設定した項目の取組状況について12月に調査を行い、行動について振り返ること、省エネに関する取組の意識付けに繋げた。	職員に対する啓発、取組状況調査による行動の振り返りを毎年行うことにより、省エネ行動が全体的に定着していているように感じる一方、積極的に取り組んでいない人が一定数見受けられるなど工夫を行う。また、近年の気候変動による厳しい暑さ・寒さを鑑み、健康面に配慮した啓発を行っていく必要がある。	5 達成 (100%)			
							計画年度	令和5年度 1	令和6年度 1	令和7年度						
		事業の方向性 (維持・拡充・縮小)					令和7年度 維持	令和8年度 維持	令和9年度 維持	優先的取組項目の更新、庁内掲示板を用いた情報提供・啓発の実施、前年度回答との比較により更なる取組意識の向上を図る						
		3 2 2 - 1	公共施設における再生可能エネルギー利用の促進	環境整備課	第3次飯塚市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の推進の一環として、市が所管する学校や公共施設における太陽光パネルの設置を促進する。	公共施設等における太陽光パネル設置累計件数【件】	令和5年度目標値 38	令和6年度目標値 38	令和7年度目標値 38	太陽光発電設備関連の事業者等との意見交換を行い、本市での効果的な導入について検討を行ったが、今年度においては導入実績なし。	施設更新時のみの導入となっており、既存施設における導入可能性調査の検討の余地がある。7年度の「地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」の中間見直し時にその方向性を示すことで、積極的かつ効果的に導入していけるよう検討する。	3 50%未満達成				
						計画年度	令和5年度 38	令和6年度 38	令和7年度							
						事業の方向性 (維持・拡充・縮小)	令和7年度 維持	令和8年度 維持	令和9年度 維持				公共施設の更新計画に基づく施設更新・新設時において、費用対効果やエネルギー効率、補助金の活用等を考慮しながら、太陽光発電設備の設置を検討する。また、補助金等を活用し、既存施設を対象とした導入可能性調査の実施を検討。			
						3 2 2 - 2	再生可能エネルギー導入目標の策定	環境整備課	2030年までの46%減、2050年までの脱炭素化の目標実現に向け、効率的に再生可能エネルギーの導入を進めるため、目標実現に必要な再生エネ導入量、及び導入に向けた施策等を定める『飯塚市再生可能エネルギー導入目標』を策定し、第3次飯塚市環境基本計画への反映を行う。導入目標策定に係る調査・推計等の策定支援業務については、本市と包括連携協定を締結している近畿大学 産業理工学部へ委託し、さらなる官学の連携推進を図る。  ※令和5年度：再生エネ導入目標等の策定 令和6年度：『地球温暖化対策実行計画【区域施策編】』への反映	再生可能エネルギー導入目標等の策定【式】	令和5年度目標値 1	令和6年度目標値 -	令和7年度目標値 -	環境審議会での度重なる審議、市民意見募集を行い、再生可能エネルギー導入目標を反映した「第3次飯塚市環境基本計画」の改定を行うことができた。特に審議会では、脱炭素化に向けた本市の課題について、十分に意見交換を行い、本市の実情を反映した計画とすることができた。	本事業の目的である「飯塚市再生可能エネルギー導入目標の策定」及び「第3次飯塚市環境基本計画への反映」について、達成することができたが、今後はその実現に向け施策を進めていく必要がある。	5 達成 (100%)
										計画年度	令和5年度 1	令和6年度 -	令和7年度 -			
事業の方向性 (維持・拡充・縮小)	令和7年度 -									令和8年度 1	令和9年度 1	策定した計画に沿って、具体的な施策の検討を行う。				
3 2 3 - 1	地産地消の推進 (フードマイレージの低減)	農林振興課	飯塚市地産地消推進協議会へ補助金を交付し、地産地消拡大を推進する活動を支援するもの。	農業体験【校】	令和5年度目標値 4					令和6年度目標値 4	令和7年度目標値 4	市内4校の小学校を対象に農業体験を行い、またイベントへの地元食材の提供を行うことで食育及び地産地消の推進を図った。	イベントでのPRが少ないため、新たなPRの場を検討する必要がある。	5 達成 (100%)		
				各種イベントでの地元農産物直売、PR【回】	令和5年度実績値 4					令和6年度実績値 4	令和7年度実績値 4					
				計画年度	令和5年度 2					令和6年度 1	令和7年度 2					
				事業の方向性 (維持・拡充・縮小)	令和7年度 2	令和8年度 1	令和9年度	地産地消推進につながり、地元食材を提供可能なイベントを発掘及び地元食材を提供し地産地消をPRする。								
				3 2 4 - 1	地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく対策の推進	環境整備課	一事業所として、エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）、第3次飯塚市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）等に基づき、市施設でのエネルギー使用量の削減及びCO2排出量の削減に向けた取組を実施する。	地球温暖化防止対策実行計画（事務事業編）における温室効果ガス総排出量【t-CO2】	令和4年度目標値 14,179	令和5年度目標値 14,179	令和6年度目標値 14,179	令和5年度における温室効果ガスの総排出量は 15,962.78t-CO2となり、前年度（令和4年度）と比較して約30.94%の増加となった。基準年度（H25）と比較した削減率は、49.4%であり、本計画の目標値である55.1%削減に届いていない状況である。	温室効果ガス排出量については、市が直接的に排出するものが主な要因ではないものの、大幅に増加している。使用エネルギー総量も微増していることから、更なる省エネルギー対策の推進や再生エネ導入拡大など、温室効果ガス削減に向けた具体的な施策を強化する必要がある。また、排出量の比較方法に疑義があるため、7年度予定している本計画の中間見直し時に検討する。	4 50%以上達成		
								計画年度	令和4年度 12,191	令和5年度 15,963	令和6年度					
事業の方向性 (維持・拡充・縮小)	令和7年度 維持	令和8年度 維持	令和9年度 維持					第3次飯塚市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）における職員及び施設所管課への温室効果ガス排出量削減目標達成に向けた啓発活動の強化。								

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標				令和6年度成果	令和7年度課題	自己評価	
							指標名称【単位】	目標値及び実績値						
基本目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの実現に向けた横断的取組 教育・協働・連携の推進〔重点施策〕	多様な媒体による情報発信	多様な媒体による情報発信	4 1 1 - 1	市公式ホームページの充実	情報管理課	行政に関わる情報を各課が作成し、ホームページ管理者(情報発信係)が内容を確認後、インターネットを経由して対外的に情報を発信している。また、閲覧者に適切な情報を発信するために、サイトの各種コンテンツの管理、サイトの充実並びに端末のセキュリティ確保等を行っている。	ホームページアクセス数【回】	令和5年度目標値 6,700,000	令和6年度目標値 6,600,000	令和7年度目標値 6,500,000	ホームページリニューアル検討のため近隣自治体、県外自治体に視察を行い情報交換を行い、リニューアルに向けた情報収集を行った。また、ホームページのリニューアルにかかる内部委員会の採択を受けることができた。また、現行ホームページの小規模リニューアル(HPの有料広告パナー位置変更など)を実施した。	大規模リニューアルについては来年度の実施が予定されているが、現行HPは令和8年3月まで使用することとなり、引き続きホームページのサーバー容量・ページ数のそれぞれ削減に努めながら、リニューアル業務を行っていく必要がある。	4 50%以上達成	
								令和5年度実績値 5,679,974	令和6年度実績値 4,833,897					
							計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				次年度以降の改善策
							事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充				ホームページリニューアルに向けた各種事務(プロボ実施、契約締結、予算執行など)を滞りなく行っていく。安定したリニューアルに向けて移行ページの精査を行い、不要ページの削除を行っていく。データ容量の軽量化を引き続き率先して行い、サーバーの安定化に努める。また、職員を構成メンバーとする内部委員会を引き続き開催し、令和8年3月を予定するHPリニューアルに向け活発な意見を聞き取る。
	多様な媒体による情報発信	多様な媒体による情報発信	4 1 1 - 2	「広報いづか」による情報発信	情報管理課	毎月1回約47,000部、市民が必要とする情報を掲載した「市報」を発行する業務。編集については、民間企業のノウハウを活用するため一部委託にて実施。配布については、自治会294か所・公共施設、コンビニ、駅などで行い、また、市ホームページやアプリ、電子書籍サイトへ掲載することで、より多くの市民に情報を提供している。	掲載媒体数(アプリ・電子書籍・ホームページ)【媒体】	令和5年度目標値 6	令和6年度目標値 6	令和7年度目標値 6	「広報いづか」を若い世代にも購読してもらう取組として「はじめてのお誕生日」の掲載者を市公式Instagramにて配信する企画を行った。また、「声の市報」を対外的に周知させる取組として、「音訊いづか」の音声データ(一部)を市HPにアップロードした。有料広告掲載事業を令和7年度より市公式ホームページと一括で外部委託としたことで、事務負担軽減を図った。	行政情報を読者により見やすく分かりやすく伝えるため、引き続き市報の総ページ数、各ページの文字数削減の継続及び月によるページ数や内容のばらつきを是正する必要がある。また、市民により興味をもってもらえるような市報作成のため、ページの内容精査や特集ページを組むための外部委託などを検討していく必要がある。	5 達成(100%)	
								令和5年度実績値 6	令和6年度実績値 6					
							計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				次年度以降の改善策
							事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充				引き続き外部講師を招き、伝え方など広報の考え方を含めた実務的な職員研修を実施。市報に関する満足度調査(アンケート)を実施し、市民の需要を把握したうえでページ内容の精査を行う。全国広報コンクールに出品、審査結果を分析し今後の業務に反映させる。カラーページの増、二色刷りページの導入、特集ページを組むための外部委託などを取り入れるなど内容の大規模リニューアル、運用ルールの変更を行うことなどを中長期的に検討・分析(外部コンサル導入含め)する必要がある。
ICTを活用した多様なコミュニケーション手段の導入	ICTを活用した多様なコミュニケーション手段の導入	4 1 2 - 1	AI自動応答サービスの導入推進	情報管理課	AI自動応答サービス(AIチャットボット)は、会話情報をデータベースに蓄積させておくことで、会話をロボットが代行してくれるプログラムである。スマートフォン、パソコン、LINEから市役所に問い合わせを行う市民に対して、FAQ登録データを整備することで、24時間年中無休問い合わせへの回答を行うもの。最終的には、「職員の電話対応時間の削減」、「24時間年中無休対応による市民サービスの向上」、「電話が接続できない課題に対する解決」を図るもの。	FAQ登録数【件】	令和5年度目標値 3,000	令和6年度目標値 2,700	令和7年度目標値 2,800	毎月のログ精査を行い、高い正答率を維持することができた。また、質問数も増加した。	正答率向上のため、FAQの新規登録件数を増やす取り組みを行ったが、年間の正答率は微増に留まった。月1回のログ精査・再学習ではリアルタイムにデータベースの更新は出来ない。	4 50%以上達成		
							令和5年度実績値 2,549	令和6年度実績値 2,631						
						計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				次年度以降の改善策	
						事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	拡充				毎月のログ精査の際の照会方法の簡略化や集計時の効率化のための様式の修正を行う。運用に係る費用(人件費含)を検証し、費用対効果を検証する。また、リアルタイムにデータベースの更新は出来ないため、生成系AI活用したシステムへの変更が必要。	
ICTを活用した多様なコミュニケーション手段の導入	ICTを活用した多様なコミュニケーション手段の導入	4 1 2 - 2	小中学校における情報機器の導入推進	学校教育課	学校の通信インフラや情報機器の維持管理等を行うことで、円滑かつ効率的な情報教育及び学校業務のための環境を整備する。	各学校での定期メンテナンス回数【回】	令和5年度目標値 29	令和6年度目標値 29	令和7年度目標値 29	保守業者・ICT研究指導員とともに各学校を訪問し、通信障害やトラブルの情報を蓄積し、ネットワークの安定稼働を確保した。機器故障時の迅速な対応により、大きな機器トラブルは発生していない。また、来年度(令和7年度)に学級編成により増加となる教室については、アクセスポイントや電子黒板の整備を令和7年3月中に整備完了した。ネットワークアセスメントを実施し、令和7年度の学校ネットワーク再構築事業に向けた課題及び改善案を検討した。	令和2年度に再構築した学校ネットワークについて、5年を経過するためネットワーク機器の更新が必要である。また併せて、国が指定する推奨帯域を確保するため、令和6年度に実施したネットワークアセスメントの結果を基に、回線の増強を含めたネットワークの再構築が必要である。	5 達成(100%)		
							令和5年度実績値 29	令和6年度実績値 29						
						計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				次年度以降の改善策	
						事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持				令和2年度に整備したGIGAスクール端末について、中学生分を令和7年度中に購入し、令和8年度運用に向け整備する。小学生分は令和8年度に購入し、令和9年度運用に向け整備予定とする。	

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和6年度成果	令和7年度課題	自己評価						
							指標名称【単位】	目標値及び実績値										
基本目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの実現に向けた横断的取組 教育・協働・連携の推進【重点施策】	多様な主体、多様な世代の交流・連携の推進	自治会・交流センターの活用による地域コミュニティの活性化	4 2 1 - 1	中央公民館の利用促進	生涯学習課	市民グループ・団体等が公民館で学習やスポーツ及び集会等の自主的な活動が行うことができるよう、社会教育・生涯学習の拠点として快適な学習空間の提供や機材の貸出等を行う。	公民館利用者数【人】	令和5年度目標値 82,000	令和6年度目標値 82,000	令和7年度目標値 9,400	施設の老朽化によりエアコン等に不具合があり、利用不可な期間が生じてしまった。そのうち修繕を行いつつも使用可能な空間の確保ができた。	令和7年5月～令和8年2月未まで改修工事の影響で休館予定のため、市民への周知を十分に行い、再開後の利用者獲得に努める。工事により、中央公民館が使用不可になった分を各交流センターで実施する支援等を行い、活動の継続を支援する。	4 50%以上達成					
			令和5年度実績値 71,583	令和6年度実績値 59,464		また、改修工事の影響で休館することについて周知活動に努めた。												
			計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	次年度以降の改善策											
			事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持	利用者・市民の方へ休館期間や改修後の案内を十分に行い、改修後の新規を含む利用者の獲得に努める。											
			4 2 1 - 2	交流センター等を活用した市民サークル活動の促進	生涯学習課	学習者がグループを形成し、学習者相互の人間関係を構築しながら継続して学習し、その学習成果を地域に還元することでまちづくりにつなげていくことを目的とする。	サークル数【サークル】	令和5年度目標値 260	令和6年度目標値 220	令和7年度目標値 180	中央公民館及び交流センター間で、募集状況を共有し広報を実施したが、サークル数及び受講生が共に減少した。	サークル生の減少が続いていることから、交流センターとともにサークル設置基準の見直し等を含めて、サークルのあり方、参加しやすいサークル活動について、調査・検討していく必要がある。	令和5年度実績値 207	令和6年度実績値 169		また、中央公民館・各交流センターにおいてまつり等のイベントにおいて、サークル生の学習成果発表の機会を設けることができた。	今後交流センターと協力し、サークル生増加に向けた広報活動に取り組む。	4 50%以上達成
			令和5年度目標値 3,300	令和6年度目標値 2,700	令和7年度目標値 2,500													
			令和5年度実績値 2,617	令和6年度実績値 2,357														
			計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	次年度以降の改善策											
			事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	維持	交流センターと協議を行いサークル設置基準の見直し等を含めて、サークルのあり方、参加しやすいサークル活動について、調査・検討を行う。また、相互に募集状況を共有・広報活動を行い、サークル生拡大を目指す。											
			4 2 1 - 3	まちづくり協議会に対する補助金の交付・人的支援	まちづくり推進課	まちづくり協議会の組織活性化及び地域の課題を地域で解決するような活動の推進を図ることを目的として、まちづくりに関する事業の計画作成や団体間の連携、協力に関する経費について「飯塚市まちづくり協議会補助金交付要綱」に沿った補助金の交付、及び人的支援を行う。	補助金の交付額【千円】	令和5年度目標値 35,514	令和6年度目標値 35,965	令和7年度目標値 35,977	12地区まちづくり協議会の事業活動については、昨年度より回数および参加者が増加した。また「みんなのまちづくりフェスタ2025」を開催するにあたり、12地区まちづくり協議会より実務者を選出し実行委員会を立ち上げたことで各協議会の連携が深まったこと、またイベント内容がより良いものに繋がり、昨年参加者800名を上回る約1300名の参加者に対し協働のまちづくりに関して啓発することができた。	次年度は再開された事業等、各地区の特色ある活動や地域の様々な世代の交流を図る活動を継続していけるよう支援する必要がある。また、まち協の取組に関して、電子黒板等を積極的に活用し、啓発活動等実施できるよう支援が必要である。	令和5年度実績値 35,434	令和6年度実績値 34,696				4 50%以上達成
			令和5年度目標値 300	令和6年度目標値 300	令和7年度目標値 300													
			令和5年度実績値 263	令和6年度実績値 463														
計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	次年度以降の改善策														
事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充	・協働のまちづくりに参画する住民等を増加させる必要があるため、事業活動等の情報発信を行い認知度の向上を図る。また、まちづくりの担い手として自立して持続的に活動が行えるよう人材育成を図る。 ・まちづくり協議会関係者に対して人材育成に関わる視察や研修等の実施。														
4 2 1 - 4	自治会への加入促進	まちづくり推進課	協働のまちづくりの根幹をなす自治会への加入促進を目的として事業を実施している。転入転居者に対し、市役所窓口で自治会に関する説明を行い訪問承諾書の記入をお願いしている。訪問承諾書は、自治会長に渡し、その後自治会による加入促進が行われる。	自治会加入率【%】	令和5年度目標値 72	令和6年度目標値 72	令和7年度目標値 72	・R5年度に作成したPR動画やポスター等を活用し、各交流センターや地域活動団体が企画するイベント等で啓発を実施することができた。	・今年度行ったワークショップや啓発活動を継続していき、今年度作成した動画やポスターを、掲示だけでなくSNS等を使って啓発していく。	令和5年度実績値 50	令和6年度実績値 48.15				4 50%以上達成			
令和5年度目標値 32	令和6年度目標値 36	令和7年度目標値 30																
令和5年度実績値 32	令和6年度実績値 28																	
計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	次年度以降の改善策														
事業の方向性(維持・拡充・縮小)	拡充	拡充	拡充	・引き続き転入転居者向けの啓発を続けていく。関係所管課と連携して「訪問承諾書」の受付を行う。 ・自治会連合会加入促進部会において協議し、市ができること、各自治会ができることを具体化し啓発を実践する。														
4 2 2 - 1	環境に関する市民ワークショップの開催	環境整備課	広く市民の参加を募る市民ワークショップを開催し、環境課題や課題解決のための具体的取組について議論し、実行する機会を提供することにより、本市の環境施策の推進において市民参画によるマンパワーの確保、アイデアの創出を図るとともに、参加者が環境問題を「自分ごと」として考えるための意識を醸成し、市民が自発的に環境課題の解決に取り組むための土壌づくりを行う。	ワークショップの開催回数【回】	令和5年度目標値 4	令和6年度目標値 4	令和7年度目標値 -	環境ワークショップを計4回開催することができた。実施内容は以下のとおり。		令和5年度実績値 4	令和6年度実績値 4					4 50%以上達成		
令和5年度目標値 80	令和6年度目標値 80	令和7年度目標値 -																
令和5年度実績値 58	令和6年度実績値 91																	
計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	次年度以降の改善策														
事業の方向性(維持・拡充・縮小)	維持	維持	廃止	-														

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和6年度成果	令和7年度課題	自己評価	
							指標名称【単位】	目標値及び実績値					
基本目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの実現に向けた横断的取組 教育・協働・連携の推進【重点施策】	多様な主体、多様な世代の交流・連携の推進	多様な主体、世代が気軽に情報交換できる場の創出支援	4 2 2 - 2	市民交流プラザの運営による情報交換の機会創出	市民活動支援課	市民の自主的で公益的な活動を支援するための市民交流プラザを設置・運営する。平成30年度から市直営に完全移行し、市民活動の場の提供や各種情報提供等を行っている。	イベント情報誌の発行【回】	令和5年度目標値 12	令和6年度目標値 12	令和7年度目標値 12	第3次実施計画の指針に基づき、交流プラザ内の一部を一時的に利用制限したことから、利用者数の減少となった。その他のスペースの利用者数においては横ばいである。	中央公民館（コミュニティセンター）の大規模改修に伴う市民交流プラザの機能移転に向けた施設内の整備を行うが、利用者等の減少へつながらないよう、事業実施する。	5 達成（100%）
							令和5年度実績値 12	令和6年度実績値 12					
							利用者数【人】	令和5年度目標値 7,800	令和6年度目標値 7,800	令和7年度目標値 7,800			
							令和5年度実績値 7,932	令和6年度実績値 6,698					
							計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	拡充	拡充	維持			
	環境保全団体などのネットワーク形成支援	4 2 3 - 1	ワークショップ開催によるネットワーク形成支援	環境整備課	広く市民を対象に、環境をテーマとするワークショップを開催し、各環境団体にとってのネットワークを広げるための機会提供を行う。	参加団体数【団体】	令和5年度目標値 10	令和6年度目標値 10	令和7年度目標値 -	一般市民の参加が多く、環境活動を行う団体同士が交流する機会を十分に用意できなかった。		3 50%未満達成	
						令和5年度実績値 2	令和6年度実績値 1						
						計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
						事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	廃止				
						計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
						事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	廃止				
環境教育・学習の充実	エコ工房、コミュニティセンター、交流センターを活用した講座、セミナーイベントの拡充支援	4 3 1 - 1	コスモス大学における講座開催	生涯学習課	高齢者に学習の機会を提供し、健康で充実した生きがいづくりと積極的な社会参加を促し、教養の向上を図るとともに、習得した知識や技術などを人材派遣事業やボランティア活動を通して、地域に還元できる人材の育成を目指す。	受講者数【人】	令和5年度目標値 175	令和6年度目標値 97	令和7年度目標値 36	一般教養コース・専門コースを年間通して開催でき、各種イベントも実施することができた。実施講座数は目標値同等だが、令和5・6年度においては、改修工事に伴い、新入生の募集を実施していなかったため、受講者数は下回っている。	令和7年度はイヅカコミュニティセンターの改修工事があるため、休講する。近年、生徒数の減少傾向があるため、休講期間中にコーディネーターと講師と協議を行いながら、事業の見直しを実施する。	4 50%以上達成	
						令和5年度実績値 93	令和6年度実績値 59						
						年間実施講座数【回】	令和5年度目標値 285	令和6年度目標値 184	令和7年度目標値 0				
						令和5年度実績値 184	令和6年度実績値 189						
						計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
						事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	拡充	拡充				
環境教育・学習の充実	エコ工房、コミュニティセンター、交流センターを活用した講座、セミナーイベントの拡充支援	4 3 1 - 2	エコ工房の利用促進	環境整備課	環境保全に関する情報発信・学習体験の場の提供を目的とした、飯塚市が所有する環境教育施設（飯塚市リサイクルプラザ工房棟）の管理運営事業。施設の管理運営を指定管理者に委託している。	各種環境教室等の開催数【回】	令和5年度目標値 196	令和6年度目標値 186	令和7年度目標値 187	エコ工房にて様々な環境教室を実施し、市民に対する環境啓発を図った。136回の環境教室等を開催し、1,022名が参加・受講した。イベントを19回開催し、899名の参加があった。	イベントによっては、参加者数の減少が見受けられるものがある。施設設備の老朽化により、突発的に修繕を要する場面が発生する。	4 50%以上達成	
						令和5年度実績値 169	令和6年度実績値 164						
						各種環境教室参加者数【人】	令和5年度目標値 1,630	令和6年度目標値 1,630	令和7年度目標値 1,630				
						令和5年度実績値 1,298	令和6年度実績値 1,275						
						イベントの開催数【回】	令和5年度目標値 33	令和6年度目標値 33	令和7年度目標値 34				
						令和5年度実績値 22	令和6年度実績値 21						
		イベント参加者数【人】	令和5年度目標値 1,400	令和6年度目標値 1,400	令和7年度目標値 1,400								
		令和5年度実績値 760	令和6年度実績値 899										
		計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度								
		事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持								

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和6年度成果	令和7年度課題	自己評価			
							指標名称【単位】	目標値及び実績値							
基本目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの実現に向けた横断的取組 教育・協働・連携の推進【重点施策】	環境教育・学習の充実	専門家による自然観察会の開催	4 3 2 - 1	自然体験プログラム「いいねん！」の開催	環境整備課	地元専門家の協力のもと、主に小学生とその親世代を対象とした、自然体験プログラムを開催し、自然環境保護意識の醸成を図る。	自然体験プログラム開催回数【回】	令和5年度目標値 22	令和6年度目標値 22	令和7年度目標値 14	自然体験プログラムを21回開催しており、延べ223名の参加者に対して、生態系保全に関する啓発を行った。自然と触れ合う貴重な機会として子どもたちが楽しんで参加している。	出前いいねん！を新たに開催するため、通常のいいねん！の参加者に繋がる様な取り組みが課題となる。自然体験プログラム参加者数の増加に加え、新規参加者の更なる獲得が課題となる。	4 50%以上達成		
								令和5年度実績値令和6年度実績値							
								19	21						
							自然体験プログラム参加者数【人】	令和5年度目標値 290	令和6年度目標値 220	令和7年度目標値 140					
								令和5年度実績値令和6年度実績値							
								185	223						
	計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	次年度以降の改善策										
	事業の方向性（維持・拡充・縮小）	縮小	維持	維持	市報、市ホームページ、公式SNS等の様々な媒体による各種事業の周知										
	環境教育・学習の充実	学校などにおける環境教育の推進	4 3 3 - 1	環境学習教材の配付	環境整備課	環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律に定める基本理念に則り、環境保全の意欲の増進を目的とした環境教育事業や、環境教育の支援を行う。	環境副読本配付回数【回】	令和5年度目標値 1	令和6年度目標値 1	令和7年度目標値 1	環境副読本の配布を今年度も行い、環境教育の推進に貢献できた。	市内における副読本の活用状況について把握を行っていない。	5 達成（100%）		
								令和5年度実績値令和6年度実績値							
								1	1						
							計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				次年度以降の改善策	
事業の方向性（維持・拡充・縮小）							維持	維持	維持	市内における副読本の活用状況についての把握のための機会の作成					
環境教育・学習の充実							学校などにおける環境教育の推進	4 3 3 - 2	小中学校における環境保全活動の推進	環境整備課				身近な環境問題や活動に関心をもってもらうため、エコスタいづか（環境教育推進大会）において、市民・団体等が日頃行っている環境保全活動を広く周知するとともに、様々な体験を通して環境保全活動を推進させる。	エコスタいづかへの来場者数【人】
		令和5年度実績値令和6年度実績値													
		1,000	800												
	活動発表学校数【校】	令和5年度目標値 10	令和6年度目標値 10	令和7年度目標値 10											
		令和5年度実績値令和6年度実績値													
		8	5												
計画年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	次年度以降の改善策											
事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持	当イベントの周知活動の強化、参加団体への声かけ強化											